



①川田西小学校の子ども達と。②マジックも大人気!③『おしゃべりくまさん』の皆さん。

紙芝居がつなぐ こころとこころ

とくしま動物園で活躍する紙芝居ボランティア『おしゃべりくまさん』。毎月第二日曜日や夜の動物園を舞台に活動を広げ、紙芝居の他、動物のクイズやマジックなど多彩な出し物で子ども達からの人気も高い。

園内の順番待ちの列で退屈そうに並んでいる子どもたちのため、「楽しく過ごしてもらいたい」という気持ちから、動物園ボランティアの有志で結成したのがきっかけ。メンバーは、大学生や主婦、会社員ら20〜60歳の14人からなる。始めた当初は朗読の経験者がほとんどいなかったため、声が小さかったり、表現が伝わらなかつたりと問題もあったが、回を重ねるうちに上手くなり、感情豊かに表現できるようになった。

昨年の5月からはオリジナル紙芝居『コンドルさん」とくしま動物園のなかまたち』の制作を開始。同園のシンボルであり、推定60歳ともいわれるコンドルの夫婦を主人公にした物語で、筋書きやセリフの表現などを全員で議論

しながら、約1年かけて完成。お年寄りへの思いやりが溢れた素晴らしい作品に仕上がっている。

最近では、動物園に来られない子ども達にも楽しんでもらおうと、県内各地の保育所や幼稚園、山間部などで公演を行う『おでかけ紙芝居隊』も開始。子ども向けの催しが少ない山間部などで、非常に重要視されている。

「子ども達が楽しめる場所を提供しようと始めましたが、気付けば私たちが、元気をもらっています。これからも、色々な人たちと触れあいたい」と代表の田中さん。『おしゃべりくまさん』では、随時紙芝居の依頼を受け付けている。詳しくは問い合わせを。

おしゃべりくまさん